

JF-IETF-RFC3611

RTP 制御プロトコル拡張レポート
(RTCP XR)

RTP Control Protocol Extended Reports
(RTCP XR)

第 1 版

2008 年 8 月 25 日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC3611に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

本標準は、下記の仕様を追加する。

『 IETF STD64 の RTCP Packet Format の記述に従い、RTCP-XR パケットは SR または RR パケットとの複合パケットとして構成されなければならない。』

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2008年8月25日	制定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで御覧になれます。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF : RFC 2119、RFC 2234、RFC 2028、RFC 2434、RFC 2974、RFC 3232、RFC 2326

TTC : JT-G107、JF-IETF-RFC2327、JF-IETF-RFC3264、JF-IETF-STD64

TIA/EIA : TIA/EIA-810-A

ETSI : ETSI-TS101329-5

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

網管理専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、RTP コントロール・プロトコル(RTCP)のための拡張レポート(XR)パケット・タイプを定義するとともに、RTP を利用するアプリケーションが、セッション記述プロトコル(SDP)により XR パケットの適用を制御する場合において、その機構を定義する。XR パケットはレポートブロックから構成され、ここでは7つのブロックタイプが定義されている。拡張レポートフォーマットは、RTCP の送信者レポート(SR)および受信者レポート(RR)パケットのレポートブロックに含まれる、6つの補足的な統計情報を伝えることを目的としている。また、ネットワーク特性のマルチキャスト推論(MINC)や、ボイス・オーバーIP(VoIP)モニタリングのようないくつかアプリケーションでは、追加もしくはさらに詳述な統計情報が必要である。

なお、ここで定義されたブロックタイプに加え、新たな追加ブロックタイプについては、このドキュメントが提供するフレームワークに沿って、将来的に定義することができる。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC3611 : 「RTP Control Protocol Extended Reports (RTCP XR)」 (11/2003)

ただし、IETF STD64 の RTCP Packet Format の記述に従い、RTCP-XR パケットは SR または RR パケットとの複合パケットとして構成されなければならない。

IETF RFC 中で参照している標準は表 1-1 に示す標準に置き換えるものとする。

表 1-1 本標準で置き換えて参照する標準

IETF RFC 中の参照先標準	本標準で置き換える標準
ITU-T 勧告 G.107 (2001)	TTC 標準 JT-G107
IETF RFC2327 (1998)	TTC 標準 JF-IETF-RFC2327
IETF RFC3264 (2002)	TTC 標準 JF-IETF-RFC3264
IETF RFC3550 (2003)	TTC 標準 JF-IETF-STD64